

平成 22 年 度
索 道 事 業 安 全 報 告 書

朝 里 川 温 泉 ス キ ー 場

- ・ イエローリフトA線
- ・ レッドリフトA線
- ・ レッドリフトB線
- ・ グリーンリフト
- ・ パープルリフト

株式会社 アンビックス

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日ごろのご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に勤めております。本報告書は、索道事業に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返ると共に広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からのお声を今後の更なる輸送の安全に活かす為、多くのご意見をいただければ幸いです。

株式会社 アンビックス
代表取締役 前川 二郎

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全確保です。

「安全基本方針」を、次のように掲げ、社長以下、社員及び従業員に周知・徹底いたしております。

- ① 安全第一の意識を持って、安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する、法令及び関連規定をよく理解すると共に、これを遵守し厳正、忠実に職務に勤めます。
- ③ 厳正な職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、最も安全と思われる取り扱いをします。
- ④ 事故又は災害が発生したときは、人命の救助を最優先に行動し、速やかに安全・適切な処置を行います。

(2) 安全目標

平成21年度から平成24年度の安全目標は次のとおりです。

今年度は索道による事故はありませんでした。

今後においても、目標達成に向けて営業を行います。

項目	内容
設備不具合による事故	乗客に死亡を伴う事故を発生させない。
人身障害事故	3年間の発生件数を1件以下とする。

3. 事故等の発生状況及び再発防止措置

(1) 索道事故

平成22年度は索道運転事故はありませんでした。

(2) 災害

平成22年度は災害はありませんでした。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成22年度は、北海道電力の送電事故によるスキー場内停電により、乗客の救助が、1件発生しました。

4. 輸送の安全確保の為の取り組み

(1) 人材教育

シーズン営業開始前に、安全に対する教育訓練を実施しています。

(2) 緊急時対応訓練

シーズン営業開始前に、全従業員を対象に救助訓練を実施しています。

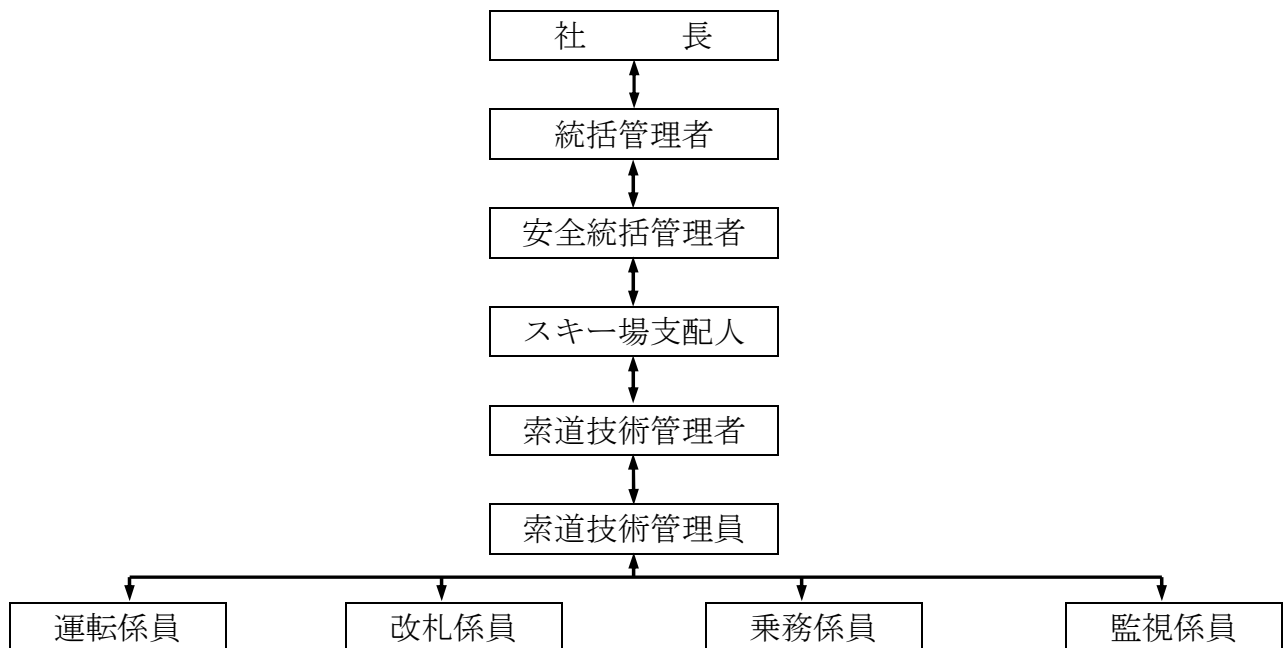
(3) 安全の為の投資と支出

安全維持・向上のため、必要に応じ修繕を行っております。

5. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の職務を明確にしています。また、運転阻害報告書（週報）制度を取り入れ、日々の業務に反映させております。

社 長	輸送の安全の確保に関する、最終的な責任を負う。
統括責任者	安全輸送の管理を総合的に統括する。
安全統括管理者	索道全般の運行管理、索道全般の保守管理、その他技術上の事項に関する業務及び係員の教育に関する業務を行う
スキー場支配人	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を行う。
索道技術管理者	担当する索道において、輸送の安全確保に関する業務を行う。
索道技術管理員	索道技術管理者の下、担当する索道の運行管理、索道施設の保守に関する業務を行う。



6. 利用者の皆様の連携とお願い

- (1) 当社では、お客様の期待に応えられる様、お客様の立場に立ったサービスの提供に努めております。
皆様からお寄せいただいた声は、真摯に受けとめ、より信頼される索道を作る為に役立てます。
- (2) リフト乗車時の注意事項
- ①乗り方に不慣れなお客様は、係員にお申し出ください。
 - ②搬器（椅子）から飛び降りたり、搬器（椅子）を揺すらないでください。
 - ③空き缶、タバコの吸殻、その他の物をリフトから投げ捨てないでください。
 - ④衣服、携帯品を施設に巻き付かせない様に注意してください。
 - ⑤改札後は、係員の指示に従ってください。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対する、ご意見をお寄せください。

〒060-0061

北海道札幌市中央区南1条西7丁目1-2

株式会社 アンビックス

TEL011-252-3800 Fax011-252-3802

E-Mail asari-sakudou@classe-hotel.com